

### 3. パートナーシップに向けて

## 私たちと一緒に身近な環境保全活動をしてみませんか？

～令和4年度での市と協働する環境市民団体の取組みを紹介します～

市では、地球と人にやさしい持続可能なまちづくりの実現に向けた施策として、「環境を支える人づくりとパートナーシップの形成」を掲げ、地域ではさまざまな主体が連携・協力しながら、環境保全活動を展開し、政策の実現に向け活躍しています。

身近な環境保全活動が地球規模の環境保全につながることを一人ひとりが意識していただければと願い、環境市民団体の取組みなどの紹介をします。

次の団体は、多くの市民にも働きかけながら、市とも協働してごみ問題や環境問題に熱心に取り組んでいる団体です。

#### 【紹介団体（連絡先）】

○多摩市民環境会議 ○多摩市環境行事実行委員会

○多摩市水辺の楽校運営協議会 ○多摩市まち美化推進協議会  
(環境政策課 電話 042-338-6831)

○多摩グリーンボランティア森木会  
(公園緑地課 電話 042-338-6837)

○エコ・フレンドリー  
(資源循環推進課[エコプラザ多摩] 電話 042-338-6836)



緑地の育成管理  
(自然環境)



まちの清掃と美化  
(生活環境)

落ち葉で  
腐葉土づくり  
(地球環境)



小学校への出前授業  
(環境情報)



持続可能な地球環境のために、できることから一つ一つ、一人では効果が少なくても、みんなで取り組めば大きな成果に！皆様のご理解・ご協力をお願いします。

団体の取組みに関心がありましたら、環境部各課にご連絡ください。

～多摩市の環境保全・啓発を積極的に進めています！！～

## 多摩市民環境会議

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	会長 清水 武志朗	発足年月	平成13年5月		
構成・組織 *分科会等	市民等による構成。みずとみどりの部会、環境美化・資源化部会の2部会あり。				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
会員数	36人	36人	36人	31人	28人
事業実施回数	21回	20回	2回	17回	17回

多摩市民環境会議は、平成13年5月に、多摩市の環境基本計画を市民の立場から実践するためにできた団体です。

活動としては、多摩市の環境市民団体のネットワークのコーディネーターとしての役割を担うことを目標としており、みずとみどりの部会、環境美化・資源化部会に分かれて活動をしています。

会の主要な事業としては「多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ」と3回シリーズの「環境学習セミナー」の開催があり、里山の保全では、さえずりの森や連光寺湿地の保全支援を行っています。

### 環境市民団体や企業・学校の環境活動のネットワーク化に貢献したい！

#### 市民活動の担い手づくり！環境学習セミナー（3回シリーズ）を開催



例年9月から12月までの間、多摩市との共催で環境学習セミナーを開催しています。

毎年テーマを決めて、そのテーマに沿って座学とフィールドワーク等の体験を行います。

この座学やフィールドワーク等の体験を通して受講生に貴重な多摩市の環境を守っていくことの大切さを知ってもらうことを目的としています。

受講者は環境について座学と体験を通して学び、みどりあふれる多摩市の環境を守っていくために大変意義のあるセミナーとなりました。

座学を学ぶ受講者

## 多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ合同開催2022

令和4年12月10・11日に「多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ合同開催2022」をベルブ永山のギャラリー・講座室・視聴覚室・集会室・はらっぱ・永山北公園で開催しました。

昨年同様、「消費生活フォーラム」と「エコ・フェスタ」を合同開催という形で実施しました。

内容は、市内で活動している消費者団体・環境団体・事業者・学校などによる展示、工作、発表などとなっています。

このイベントは、環境について市民の皆様の理解を深めていただくことはもちろんですが、行政と環境市民団体・関連企業・学校とを結ぶ大きなネットワークを築くことも目的としています。



会場の様子

## 月に一度の定期清掃活動



多摩センター地区での清掃活動

公共の場所の清掃活動にも力をいれており、概ね月に1回、清掃活動を実施しました。清掃場所は、多摩センター地区・永山地区の歩道などが中心です。

この清掃活動は、一般市民の方の参加も呼びかけており、平成25年度からは「たま広報」や「多摩市公式ホームページ」により参加者を募集しています。

## 今後の活動に向けて

今後の活動に向けての課題は、環境市民団体などのネットワーク化を進めて行くことだと考えており、そのために多摩市民環境会議がそのコーディネーター役を担っていきたいと思っています。具体的には、平成27年度から参加団体が企画段階から参加できる実行委員会形式に変更した「多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ」を、今後も実行委員会形式により実施し、環境市民団体などがネットワークを築きやすいような環境を提供していくつもりです。

～自然環境に親しむ機会を通じて環境への理解を深めるイベントを実施しています！！

## 多摩市環境行事実行委員会

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	会長 鈴木 絹子	発足年月	平成15年4月		
構成・組織 *分科会等	市民等による構成。*分科会なし				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
会員数	7人	7人	7人	7人	7人
事業実施回数	2回	2回	0回	0回	0回

多摩市環境行事実行委員会は、多摩市内で自然環境に取り組んでいるさまざまな団体や個人の共同の集まりで、平成6年に活動を開始し、環境行事を原則として年に2回、春は「川の生き物調査・観察会」を、秋は「環境ウォッチング」を、小・中学生の子どもや親などを対象にして行っています。

そして、この年2回の行事を通して、子どもたちが自然に親しみ、環境に興味を持ってもらうことを目的としています。



「環境ウォッチング」での脱穀体験の様子（令和元年度）

### 自然と触れ合う機会を通しての環境啓発活動

#### 春は川に入って魚のガサガサ体験！ 川の生き物調査・観察会の実施



川の生きもの調査・観察会の様子（令和元年度）

例年6月に、多摩川と大栗川の合流点付近で、水生生物などの調査と観察を行う「川の生き物調査・観察会」を実施しています。この調査・観察会では、河原の植物について実物を見ながらの解説があった後、川に入りガサガサにより水生生物を採っています。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

## 秋は自然の中で農作業体験とクラフト工作！ 環境ウォッチングの開催

例年 10 月に、都立桜ヶ丘公園に隣接する田んぼと大谷戸公園で、環境ウォッチングを実施しています。

午前は田んぼに行き、稲の脱穀・もみすりの体験を行い、昼食はみんなで芋煮やその場で炊いた古代米を食べ、午後は大谷戸公園でクラフト作り（小枝・どんぐり等による工作等）を行います。

自然のなかで、手や足を動かして過ごした一日は、子どもたちにとっては環境について考える良いきっかけとなります。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。



クラフト工作の様子（令和元年度）

### 今後の活動に向けて

この会の今後の活動に向けての最大の課題は、多くの会員が高齢化していることと、新規会員が増えていないということです。そのため、会をこれから継続的に発展させて行くためには、他の環境市民団体と連携をしながら、若い方を中心とした新規会員が増加するよう、イベント時にボランティアスタッフの参加を呼びかけるなど、さまざまな工夫をして行きたいと考えています。



クラフト工作の様子（令和元年度）

～自然のすばらしさを体験できるようなイベントを数多く企画しています！！～

## 多摩市水辺の楽校運営協議会

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	会長 西 厚	発足年月	平成22年4月		
構成・組織 *分科会等	市民等、多摩市教育委員会、多摩市、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所により構成 *分科会なし				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
会員数	35人	35人	35人	35人	35人
事業実施回数	13回	9回	1回	15回	16回

多摩市水辺の楽校運営協議会は、平成21年4月に発足した「多摩市子どもの水辺協議会」を前身として、平成22年4月に発足した、市民・多摩市（環境政策課）・多摩市教育委員会・国（京浜河川事務所）が構成員となっている団体です。

この多摩市水辺の楽校運営協議会は、多摩川の源流から下流まで、流域の多数ある水辺の楽校の一翼を担っており、イベント年間計画に基づいて、自然の仕組み・大切さ、さらに身近な生きものの息吹を五感で感じながら自然のすばらしさを体験できるようなイベントを数多く計画・実施しています。



乞田川の恵み（生き物調査・観察会）でのガサガサ（令和元年度）

## 多摩川カヌー体験教室



多摩川でカヌー体験！（令和元年度）

例年6月に一ノ宮公園付近の多摩川で「多摩川カヌー体験教室」を実施しています。

講師に安心・安全な川遊びの仕方について説明をしていただいた後、インストラクターのご指導のもとカヌーやEボートを自分で漕ぐ体験をします。

子どもたちにとっては、普段なかなか見ることができない、多摩川の「水上からの水辺」を見ることができ、河川、ひいては水環境への新たな関心が芽生える貴重な体験です。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

## 多摩川源流体験サマーキャンプ



例年7月下旬に山梨県小菅村に2泊3日で多摩川源流体験サマーキャンプを実施しています。1日目は溪流登りを行い、2日目は水干と呼ばれる多摩川の始まりの一滴を見るための笠取山に登る体験を行います。

この体験活動を通して、子どもたちは自然に十分親しむことができ、水辺の環境についても理解を深めることができます。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

山梨県小菅村「寺小屋自然塾」前で子どもたちと記念撮影（令和元年度）

## 乞田川の恵み（乞田川生きもの調査・観察会）

例年8月に、乞田川の恵み（乞田川生き物観察会）を実施しています。

まず川に入る前に、子どもたちに、川の状況（水温・PH・COD・DO）などについて、分かりやすい説明をし、講師からは水生生物の採り方の指導をしていただきます。

その後、乞田川に実際に入ってガサガサをして水生生物を採り、採った後には講師に楽しい解説をしていただき、生き物はまた川に戻します。

乞田川には魚なんていないと思っている参加者も、実際には魚などがたくさんいることが分かり貴重な体験となります。

令和4年度については、雨天のため、中止となりました。



水生生物の解説の様子（令和元年度）

### 今後の活動に向けて

この協議会の課題は、市民の水辺環境への関心の高さから行事の参加者が多いものの、新規会員がなかなか増えないことです。そのため、今後は他環境市民団体と連携を図りながら、若い方を中心とした新規会員の増加策を考えることが大切だと考えています。また、令和3年度から協力事業として参加している大栗川清掃活動にも引き続き、積極的に関わっていくつもりです。

～地域での清掃活動などの「まちの環境美化」を推進するため活動をしています～

## 多摩市まち美化推進協議会

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	会長 小山 喜八	発足年月	平成24年10月（前進の多摩市街美化推進協議会は平成21年7月発足）		
構成・組織 *分科会等	まちの環境美化活動を行っている企業関係者、まちの環境美化を行っている団体構成員、多摩市民環境会議会員、多摩市自治連合会会員、多摩市立小学校PTA連絡協議会会員、多摩市立中学校PTA連合会会員、廃棄物減量等推進員、環境部長、その他市長が認めた者 *分科会なし				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
会員数	13人	13人	13人	13人	13人
事業実施回数	9回	9回	1回	5回	9回

多摩市では平成24年10月1日より「多摩市まちの環境美化条例」を施行し、市内の公共の場所における吸い殻・空き缶などのごみのポイ捨て等を禁止することをはじめ、市内駅周辺を「まち美化重点区域」に指定し、路上喫煙を禁止しています（令和元年10月からは受動喫煙防止条例に移行して規制）。この条例を元に発足したのが「多摩市まち美化推進協議会」です。

多摩市まち美化推進協議会では、歩行喫煙等たばこの喫煙マナーをはじめ、ごみの散乱や落書きのない安全で快適な美しいまちを目指すため、まち美化キャンペーンの計画・実施など、誰もが住みやすいまちづくりのための取組みを協議しています。



まち美化キャンペーンでの写真  
令和4年（春・唐木田駅）

### まちの清掃と環境美化啓発活動

#### 市民一人ひとりがまち美化メンバー！ 春と秋のまち美化キャンペーン

毎年5月30日は「環境美化の日“ごみゼロデー”」として、その前後の期間において、自治会・管理組合等により地域清掃が行われています。まち美化推進協議会でも、その一環として、歩行喫煙やごみのポイ捨て等のまちの環境美化の推進や、ごみ減量・資源化の推進を呼びかけるため市民・市役所・事業所の方々と協働して、キャンペーンを実施しています。

令和4年度春のまち美化キャンペーンは集合写真を撮らない、啓発ティッシュの配布を行わない等、新型コロナウイルス感染症拡大の対策をしながら行いました。



まち美化キャンペーンでの写真  
令和4年（春・多摩センター駅）

## 少しでもまちの環境美化を前進するために！学校・事業者と協働してPR

まち美化キャンペーンは春だけではなくありません。市民の美化意識の啓発を図ることを目的として、多摩市では秋にもまち美化キャンペーンを実施しています。

秋のキャンペーンでは健康推進課と協働し、受動喫煙防止対策の一環として、受動喫煙に関する啓発活動も併せて実施し、総合的に「美しいまち 多摩」の実現を目指しています。

令和4年度秋のまち美化キャンペーンでは、新たな取り組みとして乞田川沿いを多摩センター駅付近から永山橋まで歩きながら清掃を行いました。



まち美化キャンペーンでの清掃の様子  
令和4年（秋・乞田川）

## 地域イベントでまち美化をPR！

### 多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ合同開催2022



まち美化貢献者・団体表彰式にて記念撮影

12月10日・11日に開催された「多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ合同開催2022」に出展し市民への環境美化の啓発をしました。

具体的には「多摩市まちの環境美化条例」および「多摩市まち美化推進協議会」のPRを行いました。

また、12月10日にまち美化貢献者・団体の表彰式を行い、4組の団体を表彰しました。

## 今後の活動に向けて

春・秋のまち美化キャンペーンの実施や、イベントにおける啓発活動により、多摩市まちの環境美化条例の周知を図っていますが、まだまだ市民の皆さんに浸透していないことが、大きな課題であると認識しています。そうした課題の対策として、条例の啓発方法を工夫し、市内全域での地域清掃の更なる活性化を推進していきたいと考えています。

また、まちの環境美化条例に規定されているもの以外についても、順次取り組みの検討をしていきます。

～多摩市内の公園緑地の雑木林の保全活動を行っています～

## 多摩グリーンボランティア森木会

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	会長 田村 薫（令和5年1月～） 川添 修（～令和4年12月）	発足年月	平成13年10月
構成・組織 *分科会等	多摩市グリーンボランティア講座の講師・修了者、多摩市内の公園緑地等でグリーンボランティア活動を行っている12団体		

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
会員数	262人	245人	243人	241人	241人
事業実施回数	37回	40回	22回	47回	51回

新型コロナウイルス感染症の感染予防を取りながら、当該地で活動するグリーンボランティア、多摩市公園緑地課と協働して雑木林の保全管理方法を学ぶグリーンボランティア講座初級・中級を多摩市立グリーンライブセンターやエコプラザ多摩及び市内・市外の公園緑地の雑木林等をフィールドとして講座を実施しました。

団体会員は、多摩中央公園班、一本杉公園みどりの会、なな山緑地の会、よこやまの道班、永山駅前雑木林保全育成の会、フレンドツリーサポーターズ（豊ヶ丘の杜）、亀ヶ谷緑地班、どんぐり山を守る会、からきだの道の会、豊ヶ丘小学校林活用・再生プロジェクト委員会、和田緑地の会、鶴牧西みどりの会の12団体から構成され市内の公園緑地等の雑木林保全活動を継続しています。

グリーンボランティア森木会が発足20周年を迎えたことから、市役所、パルテノン多摩等計6か所においてパネル展示を実施しました。



グリーンボランティア講座初級  
第4回 樹木を知る

## グリーンボランティア活動

みどりの保全活動の仲間づくり 多摩市グリーンボランティア講座 初級・中級



グリーンボランティア講座中級  
第1回刈払い機実習

第20期となる初級講座は、新型コロナウイルス感染症に留意しつつ昨年・一昨年とは異なり、従来通りの体制に戻し、引き続き実施した。受講者は18名と例年に比べ減少したが修了者は17名と高い修了率になった。今後は安定的に受講者数を確保していきたい。

第18期となる中級講座についても引き続き新型コロナウイルス感染症予防に留意しつつ、定員を12名に増やし、新規受講者9名、補講受講者2名、合計11名で開催され、4名の方が修了されました。ほとんどが第19期初級講座からの継続者となる中、足掛け3年に及び研修は受講生にとって負担だったかもしれません。

全体として熱心な受講生のニーズが続いていることと、最近では外国人の方々の受講が目につくようになりました。

【参考】多摩市グリーンボランティア初級・中級講座の参加者実績（過去5年間の推移）

（単位：名）

	H30 年度		R 元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度	
	受講者	修了者	受講者	修了者	受講者	受講者	修了者	受講者	修了者	受講者
初級講座	29	27	22	16	27	29	27	22	16	27
中級講座	14	9	19	12	9	14	9	19	12	9

※「初級講座」R2年度とR3年度は新型コロナの影響で2ヶ年にまたがって実施した。

### 雑木林の恵みや楽しさを学び「みどり」への理解を深める 講座・イベント・講演会

グリーンボランティア連络会が主催する講座・イベント・講演会は、令和3年度に引き続き感染予防対策を実施するとともに、可能な限り活動を充実させることとしました。

- ① 観察会 タケノコと遊ぼう！、多摩の雑木林を歩く
- ② 工作 緑の探検隊（小学生向け）、シノダケ・ヒンメリ、多摩の竹で大人のクラフト、多摩のめかい講座、クリスマスリース講座及び材料配布会、朴葉講座
- ③ イベント グリーンライブセンターLED竹灯籠  
グリーンボランティア活動安全対策、技能向上のため、内部向けに次の研修、講習会を行いました。
- ④ 上級救命再講習、技術講習会（竹伐探講座、剪定補講）、合同研修会



多摩のめかいづくり



朴葉講座



剪定補講講座

### 持続するみどりの保全活動へ 構成団体の活動状況

12 の構成団体は新型コロナ感染症対策を適切に実施しつつ、これまでの活動自粛の緩和を図り、公園緑地等の雑木林で工夫を凝らして保全活動を継続しました。その結果、令和4年度は、延べ247日、2,563名が活動を行いました。

また、活動場所の状況に応じて市内の小学校・幼稚園・保育園などの環境教育の支援を行いました。



なな山緑地の会

### 今後の活動に向けて

多摩市の魅力である「みどり」を維持・継続していく市民活動は、ひとつの無形財産財である。これまでこれを可能としてきた一つの要素としてグリーンボランティア活動がある。実技だけでなく、里山の自然の在り方、その保全を含めた講座内容は「みどり」全体の理解を深めることにもつながっている。基本となる活動指針は、安全に楽しく活動することであることだが、そのことをさらに多くの担い手によって魅力を知ってもらうとともに、地球環境の保全にも貢献していることを実感できるよう、活動をアピールしつつ、学校をはじめ様々な団体との連携も進めていきます。

～私たちが安全で安心して暮らしていける持続可能な社会を目指して～

## エコ・フレンドリー

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	代表 平野 紀美子	発足年月	平成18年12月
構成・組織	事務局（代表、会計）役員で役員会を開き本会の運営にあたる。		
*分科会等	年1回総会を開き、活動報告、活動計画、決算報告、予算計画、役員選出等を行う。		

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
会員数	26人	25人	25人	25人	24人
事業実施回数	3事業 311回 その他研修等 8回	3事業 307回 その他研修等 7回	2事業 255回 その他研修等 0回	2事業 290回 その他研修等 2回	2事業 291回 その他研修等 7回

市役所本庁舎1階のロビーで、転入者や来庁者へのごみ・資源の分別説明や相談業務を行っています。また、地域のイベントやお祭り等で、使い捨て容器の代わりに繰り返し使うことのできる「リユース食器」の貸出・洗浄等の管理業務をしています。

平成25年からは、食品スクリーニング検査業務も実施するようになりました。これらの業務を通じて、私たちが安全で安心して暮らしていける持続可能な社会を目指しています。



ごみ処理関連施設見学会の様子

## 多摩市のごみ減量・資源化の推進に向けて

### 転入者ごみ分別説明業務



窓口の様子

平成19年2月から実施しています。以前は、市役所で転入された方は、市民課で分別ガイドと収集カレンダーをお渡しするだけでしたが、本業務の窓口を市役所本庁舎1階ロビーに設置以降は、ガイド等をお渡しするとともに分別方法や排出日の案内をしています。また、来庁者のごみ相談にも対応することで市民サービスの向上につながっています。

定期的な研修会を開催するなど、メンバー各人がエコ・コンシェルジュを目指して、ごみ・資源に関する知識を高めています。

## リユース食器貸出管理業務

地域のお祭りやイベントでは、割り箸や使い捨て容器が多く出ます。これらのごみを減らすとともに市民のごみ減量意識の向上を目的に、平成17年7月から市で実施していたリユース食器の無料貸出事業の管理業務を市民協働事業として、21年2月から受託しています。

受託から9年、PRの甲斐あって、多くの市民・市民団体にも利用の浸透が見られます。例年9月下旬に実施される永山フェスティバルでは、飲食模擬店の多くが市のリユース食器を使用しており、ごみ減量はもとより市民のごみ減量意識向上にもつながっています。

ごみ減量のためには、ごみを出さない工夫や繰り返し使う取組みが重要であり、事業の果たす役割は大きいものがあります。

しかしながら、令和4年度はコロナウイルス感染症の拡大に伴い、リユース食器の貸出が中止になりましたので、業務の実施はできませんでした。

### 市民への食の安心に向けて



リユース食器



食器洗浄の様子

## 食品スクリーニング検査業務

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故は、私たちの食の安全にも影響を及ぼし、国や東京都では農産物や給食等について放射性物質の検査を実施してきました。しかしながら、依然として市民の間では食に対する不安の声が残っており、今後も引き続き、放射線の影響を把握していくことが必要であると考えています。そこで、私たちは、平成25年9月より市と協力して市民のみなさんからの依頼による食品の放射性物質検査を開始しました。

令和4年度は、48件の食品を検査しましたが、いずれも食品衛生法の基準以下でした。



検査機器 AT1320C

### 今後の活動に向けて

#### 【団体代表コメント】

エコ・フレンドリーは、「転入者ごみ分別説明業務」・「リユース食器貸出管理業務」・「食品スクリーニング検査業務」の3つの業務を市との協働事業として受託し、活動しております。

協働事業の担い手として、市民ならではの視点と発想を取り入れ、行政とも十分に話し合いながら事業を進めてまいりました。

また、当団体は、「ごみ処理関連施設」などの見学や、窓口業務に役立てるためにコミュニケーション研修などを積極的に実施し、会員一人ひとりのスキルの向上に努めております。

これからも会員のスキル向上に努めるとともに、行政との連携を深めながら協働事業の質を高めて行けたらよいと考えております。